

## 令和元年の救急出動について

令和元年の救急出動件数は**581件**（不搬送72件）、搬送人員は**508人**でした。

区分	計	救急事故種別					管外搬送	
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他		
出動件数	581	332	125	80	22	22	309	
搬送人員	508	291	113	78	17	9	311	
傷病程度	死亡	20	15	4	0	1	0	3
	重症	86	47	21	15	3	0	66
	中等症	232	121	42	57	6	6	168
	軽症	169	108	46	6	6	3	73
	その他	1	0	0	0	1	0	1
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不搬送72件</li> <li>・平成30年の出動件数は546件</li> </ul>							

### (※1) 傷病程度

死亡：初診時において、死亡が確認されたもの。

重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの。

軽症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

令和元年中の夕張市における救急出動件数は581件（対前年比35件増）、搬送人員は508人（対前年比22人増）、となりました。

救急搬送人員で、最も多かった事故種別は急病291人（57.3%）、次いで一般負傷113人（22.2%）でした。

傷病程度別（※1）で見ると、軽症169人（33.3%）、中等症232人（45.7%）、重症86人（16.9%）、死亡20人（3.9%）となっており、前年と比較すると中等症が増加し、軽症が減少しました。

全国的に救急出動件数は年々増加しており、平成30年中における全国救急出動件数および搬送人員は過去最多となっております。現在、当市では高規格救急自動車を2台運用しておりますが、救急出動件数の半数以上は管外へ搬送されています。引続き救急車の適正利用について、市民の皆様のご協力をお願いいたします。